

平成30年1月 文部科学省 研究開発局

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、イプシロンロケット3号機により、高性能小型レーダ衛星(ASNARO-2)の打上げに成功。

今回の打上げに成功し、日本の基幹ロケット(H-A/Bロケット、イプシロンロケット)としては、40機連続での打上げ成功(成功率97.8%)となった。

イプシロンロケットは、我が国が独自に培った固体ロケットシステム技術を継承し、小型衛星の打上げに、我が国として自立的に対応するために開発された。

打上げ日時・場所

打上げ日時

平成30年1月18日(木) 6時06分11秒



打上げ成功

打上げ場所

宇宙航空研究開発機構

内之浦宇宙空間観測所

(鹿児島県肝属郡肝付町)

〔主要諸元〕

全長
約 26.0 m
質量
約 95.6 t
固体3段式
打上げ能力
約 590 kg
(太陽同期軌道)



打上げ衛星

高性能小型レーダ衛星(ASNARO-2)

(写真提供: JAXA)

ASNARO-2は、経済産業省の産業技術研究開発補助金事業として、日本電気株式会社(NEC)が開発した地球観測衛星。高分解能のXバンド合成開口レーダ(SAR)を搭載し、災害状況把握・国土管理・資源管理等の分野での利用を目的としている。

〔主要諸元〕

分解能	約 1.0 m (レーダ)
観測幅	約 10 km
質量	約 570 kg
軌道	太陽同期準回帰軌道
軌道高度	約 505 km
ミッション期間	5年以上



ASNARO-2 軌道上外観図

ASNAROプロジェクトについて:

我が国宇宙産業の国際競争力強化のため、短納期、高性能、小型かつ低価格の地球観測衛星の開発を推進。光学センサを搭載した技術実証衛星(ASNARO-1)は、平成26年11月にロシアで打上げ、現在運用中。